

(2面から続く)

子育て支援の拡充を求めて

【質 問】産後も安心して子育てできる支援体制を確保するため、都が2年度から実施している産後ドゥーラ事業を区でも導入すべき。見解は。

【区 長】いたばし版ネウボラの拡充につながる事業であり、先進事例などを参考に検討していく。

【質 問】区の男性職員の育児休業取得推進に向けた、課題と対策は。

【区 長】休業中の業務体制の確保などが課題と認識。職員向け情報誌で男性の育児参加を推進する職場を紹介するなど、機運醸成を図っていく。

今後の教育施策について問う

【質 問】子どもたちの学力を向上させるうえで、「読み解く力」の育成は、今後どのように展開していくのか。

【教育長】3年度に区独自の小中一貫教育カリキュラムの一つとしてまとめる予定。開発重点校の授業研究に加え、教科等指導専門官による授業公開などにより、板橋メソッドを開発し、普及させていく。

【質 問】不登校対策として、フレンドセンターの機能充実とともに、指導体制・組織体制の充実が重要。区の見解は。

【教育長】不登校対応ガイドラインを作成し、学校の体制の充実を図っている。今後もフレンドセンターの機能や学校の指導体制・組織体制の一層の充実を図り、児童・生徒の個々の状況に応じたきめ細かな支援策を講じていく。

【質 問】学校プールにおける民間活用について、過去の一般質問にて導入を提案したが、その後の研究の成果は。

【教育長】先行自治体の視察やヒアリングにより、維持管理費の削減などの効果があることを確認した。4年度のモデル実施に向けて、対象施設の選定などを検討している。

絵本のまちの魅力発信を

【質 問】東武東上線上板橋駅から新中央図書館までの道のりを「絵本のまちロード」として、「絵本のまち板橋」の可視化・発信をしては。

【区 長】開館に向け、地域の商店街の協力により、同地区を彩る取組みを進めている。今後、可視化の方法について様々な可能性を検討していく。



新中央図書館の児童コーナーの「えほんの森」

【質 問】印刷業が盛んな特徴をいかし、区民が創り、区民が選ぶ絵本コンクールを開催し、優秀作品を出版しては。

【区 長】区内印刷・製本企業の協力により、中学生向け絵本づくりワークショップを実施している。今後、事業を充実させていく中で、絵本コンクールの開催や創作絵本の出版の可能性を検討していく。

防災対策について問う

【質 問】感染症流行時における避難所体制マニュアルの早急な作成を求めてきたが、進捗状況は。

【区 長】感染防止策を盛り込んだマニュアルを改訂済み



小林おとみ

(共産党)



3年度予算の重点施策を問う

【質 問】新型コロナウイルス感染拡大は社会的弱者に最も厳しく影響しており、貧困格差対策、経済的支援が予算編成方針の柱に据えられていないことは問題。セーフティネット機能の強化を位置付けるべき。

【区 長】重点戦略においても区民の生命と健康、財産を守る第一であり、コロナ対策やSDGs戦略により、セーフティネット機能の充実に取り組む。

【質 問】2年度に行った様々な生活支援策を検証し、

であり、学校防災連絡会などの機会を通じて、避難所運営の関係者にも共有している。

【質 問】水害時の浸水想定エリア内に清掃事務所や雇上会社などが立地している。清掃車両が浸水しないよう退避場所を確保すべき。

【区 長】区有地を中心に、公共用地や民間所有地などを含め、幅広く退避場所についての検討を進めていく。

東武東上線のホームドアの早期設置を求めて

【質 問】No.1実現プラン2025に東武鉄道との協議を行うと盛り込んだことは評価するが、さらに一歩踏み込んだ予算措置を求める。見解は。

【区 長】国や都の支援を受けながら、東武鉄道とともに準備を進め、準備が整った段階で予算の確保も行っていく。※以上のほか、商業支援について質問があった

早急に恒常的な制度とすべき。

【区 長】区独自の生活支援事業はコロナ禍における緊急的なものであり、恒常化させる考えはない。必要な事業を時機を逃さず実施していく。

【質 問】国が示す保健師の人員体制強化にならない、区でも保健師を増員すべき。

【区 長】保健師の確保が難しく、保健所以外に配置している保健師を活用するなどして対応する。また、感染症対応の経験と状況を踏まえ、適正な人員数を設定する。

【質 問】選択的夫婦別姓制度は、個人の尊厳を保障するものと考える。制度に対する区長の見解は。



【区 長】国民各層の意見や国会における議論の動向、司法判断も踏まえたさらなる検討が必要であり、今後の動向を注視していく。

エッセンシャルワーカーの感染対策支援を問う

【質 問】高齢者のデイサービスなどの通所施設で感染が発生した場合、検査対象となった施設利用者を在宅で支援しているヘルパーなども行政

検査の対象にすべき。

【区 長】国の事務連絡により、高齢者や障がい者に関わる方に、自治体が独自検査を実施できるとされた。都の計画を踏まえ、事業形態に関わらず、検査の実施を検討する。

【質 問】保育園職員などが定期的にPCR検査を受けられるようにするとともに、感染した場合に安心して休める休暇体制を保障すべき。

【区 長】検査精度の問題などにより、定期的な検査の実施は考えていない。長期療養などに備えた体制の確保は、各保育施設へ要請している。

区民生活を支える区政を

【質 問】飲食店以外の中小業者の収入減にも直接支援が必要。家賃に加え、リース代などへの助成も実施すべき。

【区 長】時短営業などにより影響を受けた飲食店関連事業者へ支援する予定だが、リース代などを含めた家賃助成を実施する予定はない。

【質 問】国の計画で示された、常勤保育士1人の代わりに短時間保育士2人の配置でも可とする規制緩和を、区として行わないようにすべき。

【区 長】安定的な保育のためには常勤保育士の配置が望ましいことから、配置については慎重に検討する。

【質 問】区立福祉園のサービスマン水準を低下させないよう、民営化を行わず、現行の体制のまま区が運営すべき。

【区 長】福祉園民営化は経費の効率化を図り、持続可能なサービスマンを提供するものである。民営化方針の検討の中でサービスマン水準を維持するための方策を取りまとめていく。

【質 問】いこいの家を廃止せず、誰もが気軽に立ち寄れる地域の居場所とすべき。



高沢一基

(民主クラブ)



コロナ禍を乗り越えるために

【質 問】医療機関の負担に配慮しつつ、現役世代に対してもワクチンの集団接種や夜間・休日の接種を実施すべき。

【区 長】PCRセンターの運営を見直し、医療機関と協議を重ね、多くの方が利用しやすい体制の構築に努める。

【質 問】ワクチン接種を促進するため、ワクチンの効果や副反応について、積極的な広報を実施すべき。

【区 長】情報を速やかに周

る地域の居場所とすべき。

【区 長】いこいの家の利用最終案策定に向けて検討している。元気な高齢者の活動場所のすそ野を広げ、健康長寿のまちづくりを推進する。

新しい社会のあり方を問う

【質 問】温室効果ガス排出ゼロに向けて、原発ゼロに取組むべきと考えるが、見解は。

【区 長】エネルギー政策は国の所管であり、電源構成に係る原子力への依存度などは様々な議論を経て国が示すものとする。

【質 問】従来の「新エネルギー」及び省エネルギー機器等導入補助金を継続すべき。

【区 長】省エネ意識の醸成や一部の機器の普及、低価格化により、所期の目的は一定程度達成されたと捉えている。

【質 問】大山など4つの地域における、タワーマンション頼みの再開発はやめるべき。

知することで懸念の軽減につなげ、接種を選んでもらえるように努めていく。



【質 問】ワクチン接種の効果が表れ、人々の行動制限が緩和された折には、積極的な財政出動で経済対策を進めるべき。

【区 長】3年度予算においても新たな経済対策を盛り込み、引き続き重点的に対処していく考えである。必要となる対策に機動的に取り組む。

自殺防止対策を問う

【質 問】コロナ禍で苦しみ悩んでいる区民の命を救うため、今こそ自殺対策の専門部署を設置すべき。

【区 長】自殺防止対策を進めるためには、事務局機能の強化が重要であることから、今後の体制について検討していく。

施設へのLED照明導入を

【質 問】使用頻度の高い施設を優先するなど、早期に計画的な導入をすべき。

【区 長】LED照明の計画的な導入を進めていく。

大山・板橋・上板橋・高島平のまちづくり推進を

【質 問】新たに設置されるまちづくり推進室が司令塔となり、各地区の再開発について積極的に行動することを求めるが、見解は。

【区 長】同室を中心に、組織横断的な施策展開によって、地域住民とともに、各地区のまちづくりを進めていく。

休日保育の実施を求めて

【質 問】区立保育園での休日保育を早期に実施すべき。

【区 長】休日保育に対するニーズが一定数あることは認識している。引き続き、体制の整備や経費などの課題解決に向けた検討を進める。